

夢大使紹介⑦



村上 泰 吏 氏

一般社団法人
ボランティアサポート代表理事

南三陸町との関わり

3.11の震災時、災害ボランティアとして関わった後、企業の社員研修や東京の企業と共同で情報発信拠点を設立・運営し、南三陸をはじめとした東北各地の情報および食の発信を行なっています。

避難所や仮設住宅で起こった問題などを元に他の被災地で市町村や社協と事前に対策しています。

大使としての活動内容

関東の子ども食堂（茨城、千葉、東京、神奈川）に南三陸町紹介と町の食材を提供。

関東から東北に旅される方へ観光情報等を紹介。

南三陸町への想い

震災以前より日本一周で通過したことはありましたが、実際に町の人との交流は震災ボランティアが初めてでした。

被災地に入って思った事は、「また勉強させてもらった！」でした、良い所も、悪い所も、合わせ気付かされ、また何もかも失ったのに前向きに直向きに進まれている姿を目の当たりにして、本当に勉強になり、日本中の被災していない人達に知って欲しいと思ったのが今の活動の始まりでした。

これからも町の皆様から学んだことを全国に伝え、災害時の苦勞が少しでも軽くできる様な活動をしていければと思っています。

夢大使紹介⑧



鈴木 正 人 氏

NEC ネットズエスアイ株式会社 総務部・エリアコミュニケーショングループ
NEC "TOMONI" プロジェクトタスクフォース 事務局長

南三陸町との関わり

東日本大震災直後にNECグループの社会貢献担当者が集まり、今後の支援活動についてミーティングが開かれました。その場で私がNECグループを取り纏める震災復興の事務局長を任命され、『NECグループ" TOMONI"プロジェクト』を立ち上げました。

2011年（平成23年）7月から東北支援に入り、同年12月より南三陸町に軸足を置いて支援活動を開始しました。毎月1回都内からバスを出し、社員ボランティアを募って、当社はガレキ撤去から開始し、後には福興市のサポートとして町に溶け込んで活動してきました。

また、当社（NEC ネットズエスアイ(株)）では、2012年（平成24年）4月入社の新入社員全員を2泊3日でチームビルドの観点で、現場を経験させる研修も取り入れました。5年間にわたり新入社員は、南三陸町に全員が足を踏み入れました（約1,200名）。この研修も新入社員にとって現場を知る大切な研修になりました。このような活動を通じて、町に寄り添った活動を展開してきた事で、多くの町民と触れ合う事ができ、私にとって大きな財産になりました。

大使としての活動内容

主にまちづくり施策の策定・実施に対する助言や町に関する情報発信を行います。町の魅力をいかに広められるか、ガガギなので、今までの経験やノウハウを活かして、少しでも貢献したいと考えています。

南三陸町への想い

2011年（平成23年）12月から南三陸町に軸足を置き、活動してきて、いろいろな町民の方や他企業ボランティアの仲間と知り合うことができ、私にとって財産であります。

毎月訪れていたのも、四季も感じましたし、その時のイベントなども一通り参加してきた事で、南三陸町の移り変わりも見えてきています。また、復興フェーズから町づくりフェーズに移ったのを直接見てきているので、『ふるさと』と言っても過言ではありません。

自然の猛威で大変な事が起こってから、いろいろな表情を見ました。長年寄り添ってきた事で、町民の方々からも対等に接して頂き、今、これからも町に足を運んで、楽しい一時を笑顔で過ごしていきたいと思っています。

夢大使紹介⑨



吉川 由 美 氏

文化事業ディレクター・
演出家

南三陸町との関わり

15年ほど前、宮城県の観光キャンペーンの取材の時でした。美しい海と、明るく活力あふれる漁師さんや商店主のみなさんが印象的でした。2010年（平成22年）観光のまちづくり事業に、当時の産業振興課からお招きいただき、町の女性たちと共にイベントやスイーツ開発などを行いました。今も続けている「みんなのきりこプロジェクト」も、そのひとつです。当時の歴史を感じる街並み、そこで生きる人々の姿は、今も心に焼き付いています。

南三陸311メモリアル展示やラーニング・プログラム作りにも関わらせていただきました。訪れた人が「生きる」ためのとっさの判断の難しさを自分事として体験し、命の重さを感じていただきたいと工夫を凝らしました。

大使としての活動内容

震災後、観光協会の広報制作のための取材を通して、また、きりこプロジェクト、写真家 浅田政志さんの写真プロジェクト、小学校での歌や郷土芸能のワークショップなどをボランティアで行いながら、南三陸のみなさんの歩みを拝見してきました。厳しい状況の中、笑顔を決やさず互いに支え合い、未来のために利他の心をもって難しい選択に挑むみなさんの姿に、人はどう生きるべきかを改めて学ばせていただいています。

南三陸町への想い

南三陸町は、失われた命を思い、めぐる命の脈動を感じることができる町。大好きな南三陸町が、世界に二つとない、人の心を震わす感動にあふれた町になるよう、これからも微力ながらお手伝いしたいと思っています。

夢大使紹介⑩



佐々木 眞奈美 氏

オフィス・オム代表
tbcラジオ「あっぱれとっぺファーマシー」パーソナリティ
株式会社ノア
けやき薬局グループ統括兼
けやき薬局吉成台店管理薬剤師

南三陸町との関わり

海が好きな私は、幼いころから志津川で電気店を営んでいる叔母の家に遊びに行くことがとても楽しみでした。志津川は、津山町に住んでいた私にとって一番近い「都会」で、初めて映画館で映画を見たのも志津川でした（確かその時の映画は西城秀樹さん主演の「愛と誠」!!(笑)）。

また、子ども会の夏のイベントは親子旅行で行く歌津の海水浴場が定番で、毎年私の夏休みの絵日記の多くのページが南三陸町で占められることになりました。特に、志津川湾夏祭り花火大会は私にとって最大のイベントで、毎年欠かさずに行っていました。

後にtbcラジオの番組「わが町ドまん中」を担当し、その夏祭り花火大会の司会をさせていただくようになり、歌津の夏祭りでも公開放送などで呼んでいただき、大変お世話になりました。ありがとうございます。

多感な高校時代、辛い事や悩み事があるとバイクを駆って海を眺めに行っていたのも南三陸町。不思議と訪れれば元気になる町で、それは今も変わらず「何かあったら南三陸町の海を眺めに行く」と頼りにしています。本当に感謝です。

大使としての活動内容

夢大使から復興応援大使、そしてさんさん夢大使と、長く「大使」を拝命させていただき、これからも南三陸町の素晴らしさを伝える広報活動をはじめ、私のできることで尽くしていければと決意を新たにしています。

南三陸町への想い

海が好きな私にとって、「景色が最高」で「人が好くて最高」な上、元気パワーが充電できる大好きな町。これからも心から応援してまいります。